

青年部・次の企画は経営関係の学習会「SWOT分析」を計画

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市沼垂西3丁目
電話(243)0141

20 年 10 月 12 日

食事しながら楽しく部会を開催

10月3日(土) 青年部の部会が「レストハウス青柳」で開催され7名が参加しました。青年対策部・市橋雅彰副会長も参加し、次の青年部の企画について相談。「ためになる企画」にしよう、経営に関する学習会を企画する方向となりました。

学習内容としては「補助金」「補助金を獲得するための事業計画書作り」「経営分析」などがあります。「小規模企業持続化補助金」などの補助金を申請するには経営分析が必要になることから、自社の強みや弱み等を第三者と分析する「SWOT分析」の学習会を企画することとなりました。日程などの詳しい内容については10月の青年部役員会で決定する予定です。

その他には「釣りをやってみよう」という声も出され、釣りとバーベキューを組み合わせたい企画も考えていくことになりました。

会場の青柳さん(青年部員)にコロナの影響などを尋ねると「大きな影響を受けたのは4月。中心部(新潟駅周辺)から離れた位置にあるせいか、他の月は気になるほどの影響はなかった」と話しました。「店がある日は出られないが、またこういった集まりがあるなら参加したい」と次回の部会への期待が膨らむ部会となりました。

SWOT分析とは・・・

組織を4つの軸から評価する手法。

Strength...強み Weakness...弱み

Opportunity...機会 Threat...脅威



日程

- ・ 拡大統一行動日 10月19日～25日
- ・ 県婦協総会 10月18日(日)
- ・ 全婦協総会 10月25日(日)

もっとわかりやすく、簡素な手続きを 「家賃支援金を申請してみよう」

亀田支部 Yさん(飲食業)

【実際に申請してみてもの感想】

書類で分からないことがあり電話で問い合わせ、何度も確認した書類を提出したら違うと言われました。再度確認すると違う人の対応でした。問い合わせをする度に対応者が変わり、それぞれ言う事が違うため担当する人を固定して欲しい。



「提出した書類をよくみればわかる」のに「赤線を引いて分かりやすくしてください」などということで修正を求められたこともあります。

持続化給付金と同じく「売上が減った月、売上が分かる売上台帳」を添付する欄があるので同じ書類を添付したら修正を求められました。修正を求めるときは、「もっとわかりやすい言い方」での説明をお願いしたい。

今回、民商亀田支部の相談会に参加して何度も相談することで、家賃支援給付金を受けることができました。民商に入っていて本当に良かった。

新型コロナから業者を救うため 政府はスピードをあげろ！

家賃給付金は持続化給付金と比べて、手続きがとても煩雑となっています。ほとんどの場合に大家から証明書をもらわなければいけないなど、申請に行きつくまでに時間が掛かります。

また手続きを複雑化したためか審査にも時間が掛かっていて、困っている中小業者を救済する姿勢が見られません。持続化給付金も9月以降は同様な傾向が見られるため、「中小業者救済のために手続きの簡素化とスピードアップ」を求める運動を起こしていきましょう！

「消費税減税こそ一番の景気対策」 10%増税から1年での怒りの街頭宣伝行動

新潟民商も参加する消費税各界連絡会は10月1日、10%増税から1年の怒りの宣伝行動に取り組みました。この行動には11団体から40名が参加しました。

各団体からの減税の訴えをしながら、消費税に対するシール投票を実施。結果は増税されて苦しくなった人は74%、5%以下への減税を求める人は89%に上りました。

また、この行動には森ゆう子参議院議員の秘書の方と平あや子前市議が参加し、西村ちなみ衆議院議員とうち越さくら参議院議員からはメッセージが寄せられました。



関屋支部・役員3名で賑やかな会員訪問

10月2日(金)に会員訪問で17名と対話しました。

「共済学習会(三川温泉)の案内」「大腸がん検診の受診確認」「婦人部からのプレゼント」「コロナ対策制度のお知らせ」など内容は盛りだくさん。

訪問した内6名が国保などの減免申請をしていましたが、ほとんど結果が届いていました。持続化給付金を申請した人も「入金されていたよ」と喜びの声。一方で家賃支援給付金に関しては「申請してから2ヶ月経って



やっと不備がわかった」と怒りの声が出されました。

県内外でイベントをしている時計屋さんは「やっと県内で開けるようになったが県外はまだまだ」となかなか状況は厳しい様子。

飲食店も少しでもお客様さんに来てもらおうと「ゴートウイート」取扱店への登録を試みています。

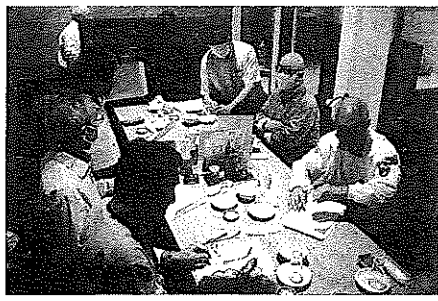
会員の健康を守るために活動しよう!

新潟民商共済会三役会

10月2日(金)共済会三役会が新潟駅南の「山小屋」(万代支部会員)で開かれ10名が参加しました。

先月開催された新潟民商共済会総会後はじめて開かれる三役会となります。新たに三役に選出された遠藤民子さん(小針支部・喫茶店)も参加し半数が女性となることで華やかな会となりました。

共済会総会や大腸がん検診の感想などが出し合われ、これから取り組む大腸がん検診のことなどについて熱心な討論に。会議終了後は懇親会を行ない、みなさんの商売や健康についての話題が尽きず、最後まで賑やかな交流となりました。



新潟民商共済会

大腸がん検診のお知らせ

新潟民商共済会が取り組む「大腸がん検診」が今年も実施されます。会員・配偶者・家族・従業員の方が検査を受けられます。

検査方法は潜血検査で行うので食事制限もなく、自宅で簡単にできます。この機会に多くのみなさんが検診されるようお願いいたします。

検査料は500円 民商共済会の加入者は無料です。

各支部で決められた所定の場所に所定の日までに持参してもらいます。支部ニュース等でお知らせしますので確認をお願いします。

今回実施される検査で、再検査になった方は民商共済会から一万円の助成金が支給されます。ただし、民商共済会に加入されている方が対象です。

早期発見で
健康を守るう!

